

5 事業量等

実績【事業期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日】							
	素材生産						
	主伐			間伐			
	面積(ha)	材積(m³)	生産性(m³/人日)	面積(ha)	材積(m³)	生産性(m³/人日)	
直営	15.00	8,207	7.58	97.00	7,954	6.89	
請負							
合計	15.00	8,207		97.00	7,954		
	造林・保育			左記以外の 林業の 事業量	事業区域 (市町村)	素材生産の 請負がある 場合は、主 な経営者名 を記載	造林・保育 の請負があ る場合は、 主な経営者 名を記載
	植付(ha)	下刈り(ha)	その他				
直営	5.00	19.00			十和田市 七戸町 東北町 新郷村		
請負							
合計	5.00	19.00					

5年後の目標【事業期間 令和10年4月1日～令和11年3月31日】							
	素材生産						
	主伐			間伐			
	面積(ha)	材積(m³)	生産性(m³/人日)	面積(ha)	材積(m³)	生産性(m³/人日)	
直営	22.00	11,000	11.0	110.00	8,800	8.3	
請負							
合計	22.00	11,000		110.00	8,800		
	造林・保育			左記以外の 林業の 事業量 ()	事業区域 (市町村)	素材生産の 請負がある 場合は、主 な経営者名 を記載	造林・保育 の請負があ る場合は、 主な経営者 名を記載
	植付(ha)	下刈り(ha)	その他				
直営	28.00	62.00	24.00		十和田市、七戸町、 六戸町、東北町、新 郷村、五戸町		
請負							
合計	28.00	62.00	24.00				

6 素材生産量の増加又は生産性の向上

- 生産量において5年間で約2割増加させる目標を有している。
- 生産性において5年間で約2割向上させる目標を有している。
- 生産量において一定の水準(5,000m³/年)に達しており、現状以上に増加させる目標を有している。
- 生産性において一定の水準(間伐8m³/人日、主伐11m³/人日)に達しており、現状以上に向上させる目標を有している。

はい



【目標達成に向けた具体的な取組内容】

ザウルスロボによる作業道作設の推進と効率的な作業システムの構築
作業員の技術習得による作業効率の向上
森林経営計画の面積拡大による事業量の増大(現在203ha→目標250ha)

7 生産管理又は流通合理化等

- 作業日報の作成・分析による進捗管理、生産工程の見直し、作業システムの改善等の適切な生産管理に取り組んでいる。

はい



【適切な生産管理の具体的な取組内容】

作業日報を活用した生産性分析による作業システムの改善、事前調査・計画のICT化(ドローンの空撮とGNSS利用による調査の省力化・精度の向上、GISソフトウェアを用いた分析・情報の共有化)

- ・製材工場等需要者との直接的な取引、木材流通業者や森林組合系統などの取りまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷等の原木の安定供給・流通合理化等に取り組んでいる。

はい

【製材工場等需要者との直接的な取引】
取引先名： (株)曾我産業、(株)十和田燐寸軸木、上北森林組合

【取りまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷】
取りまとめ機関名： 青森県国有林材生産協同組合、青森県森林組合連合会、岩手県森林組合連合会、ノースジャパン素材流通協同組合

【その他の取組内容】

8 造林・保育の省力化・低コスト化

- ・伐採・造林の一貫作業システムの導入、コンテナ苗の使用、低密度植栽、下刈の省力化等に取り組んでいる。

はい 1年以内に
取り組む

【現在取り組んでいる又は今後取り組む具体的な内容】
一貫作業システムの導入、コンテナ苗木の使用、低密度植栽の実施

9 主伐後の再造林の確保

(1) 主伐及び主伐後の再造林の一体的な実施体制

- ・主伐と再造林の両方を直営施業で実施する体制を有している。
- ・主伐又は再造林を他者への請負により実施する体制を有している。
- ・連携する他の林業経営者と一体的に実施する体制を有している。

はい

【連携する林業経営者名：】

(2) 適切な更新

- ・自己の所有する森林の主伐にあっては、主伐後の適切な更新を実施している。他者の所有する森林の主伐にあっては、事前に森林所有者等に対する適切な更新の働きかけを行っている。
- ・青い森づくり推進機構と協定を締結し、再造林に係る協力金を拠出している（素材生産を行わない経営者にあっては、協力金を拠出している経営者と連携している）。
- ・他者の所有する森林の主伐（針葉樹）面積の5割以上の再造林する計画を有している。

はい

【再造林計画の達成に向けた具体的な取組内容】
森林経営計画を作成し、委託契約林の伐採・再造林計画に基づき作業を実施

10 素材生産や造林・保育の実施体制の確保

- ・素材生産又は造林・保育に関して3年間以上の実績がある。
- ・所属する現場作業職員の現場従事実績等が3年間以上ある。

はい

11 伐採・造林に関する行動規範の策定等

- ・経営者独自の行動規範を策定し、遵守している。

はい

1年以内
に策定予定

〔 今後策定するとした場合の策定期限： 〕

- ・所属する業界団体等が行動規範を策定し、遵守している。

はい

1年以内
に策定予定

〔 策定主体： 青森県国有林材生産協同組合 〕

〔 今後策定するとした場合の策定期限： 〕

12 雇用管理の改善及び労働安全対策（直接雇用する現場作業員を有する場合に限る）

- ・現場作業職員の常用化などの雇用の安定化に取り組んでいる。

はい

【雇用安定化の具体的な取組内容】

森林経営計画等に基づき年間の事業量を確保し、現場作業員全員を通年雇用している。

- ・現場作業職員への月給制度や週休2日制の導入、賃金水準の向上など労働条件の改善に取り組んでいる。

はい

【労働環境改善の具体的な取組内容】

令和5年度に全職員5%の賃上げを実施した。今後も計画的に賃上げに取り組んでいく。有給休暇については、労使間で話し合いを持ち、適切かつ計画的な休暇取得となるよう取り組んでいる。

- ・計画的な研修実施などの教育訓練の充実に取り組んでいる。

はい

【教育訓練の充実の具体的な取組内容】

林業労働力確保支援センター及び業界団体による講習会、研修会(チェーンソー講習、先進見学等)への積極的な参加、森林管理署主催の現地検討会(採材、造材、低コスト化)への参加、ベテラン職員による経験年数の浅い作業員へのマンツーマンOJT等

- ・現場作業職員の社会・労働保険、退職金共済等へ加入している。

はい

- ・リスクアセスメントに取り組んでいる。 はい
- ・防護具等の着用の徹底を図っている。
- ・外部機関による作業現場の安全巡回指導、労働安全コンサルタント等専門家による安全診断・指導等の労働安全対策に取り組んでいる。

【外部機関等による労働安全対策の具体的な取組内容】

林材業労働災害防止協会青森支部の安全巡回指導を受け入れ、指導内容を日々の安全対策に反映している。

13 コンプライアンスの確保

- ・役職員に対してコンプライアンスの教育を行っている（他者への請負により林業生産活動を行っている経営者は、請負者に対し適切な指示・指導を行っている。） はい
- ・業務に関連して法令に違反していない
- ・国、県、市町村から、入札参加資格の指名停止を受けていない。

14 常勤役員の設置（法人に限る）

- ・常勤役員を設置している。 はい
- ・常勤役員を設置していない場合、森林経営管理法の施行日から起算して3年を経過した日以降最初に招集される総会時までには設置するよう取り組む。

15 経営状況

- ・経理状況が良好である。 はい
- ・森林経営管理権の設定を受ける場合は、当該森林の経営管理に関する経理を他と分離できる。

16 その他の情報

森林災害ボランティア(山火事防止パトロール、日本森林林業振興会、青森支部、平成27年度以降～)
地域の森林に関わるボランティア活動(青森生協連合会、植樹祭に係わる地拵(平成26年度以降～)
名誉オーナーとして平成28年に東北森林管理局より認定
無事故表彰(林災防青森県支部、2019年)

防災活動、ボランティア活動等の地域貢献、表彰実績、人材の確保・育成対策、F S C 認証取得などの経営の健全性等について記載する。